

## アユの棲む川、棲める川第3回

### フォーラム: 淀川河口大堰魚道における天然アユ遡上の促進について考える

(淀川河川レンジャーおよび京の川の恵みを活かす会共同企画)

日時: 平成27年7月4日(土) 13時30分~16時30分

主催: 淀川河川レンジャー・京の川の恵みを活かす会

会場: 淀川河川レンジャー中央流域センター会議室(枚方市)

企画担当: 竹門康弘(京の川の恵みを活かす会)

谷口順彦(淀川河川レンジャー伏見管内)

趣旨: 淀川から一時姿を消した海産アユが復活しつつあります。しかし、淀川の河口域には淀川河口大堰および毛馬閘門があって、それらが若アユの順調な遡上を妨げていると考えられます。若アユが大堰魚道を無事越えてさらに餌の豊富な上流三川(桂川、宇治川、木津川)へ到達できるのは河口域に集結したアユのほんの一部に過ぎません。本フォーラムの目的は、若アユにとって決定的に重要な河口大堰と毛馬閘門による溯上阻害に関して考察を深め、その解決法について、パネリストおよび一般参加者のご意見を集約し、遡上成功率を高める方策を編み出すことにあります。本フォーラムでは以下の5項目について順次意見交換を進めることにいたします。

- 1) 淀川における天然アユの今年の溯上動向について(5月の見学会の総括より)
- 2) 新淀川と大川への稚魚溯上量の比率の決定要因について
- 3) 若アユの溯上成功率を高めるための魚道およびゲート操作と運用法について
- 4) 毛馬閘門ゲート直下に蟄集する若アユの汲み上げに関する試案について
- 5) アユ以外の魚類の溯上に関する情報整理

#### パネリスト:

竹門康弘(京の川の恵みを活かす会代表、京都大学防災研究所水資源環境研究センター准教授)

河合典彦(淀川環境委員会水域環境部会長、淀川河川レンジャー福島・毛馬管内運営会議委員長)、

中筋祐司(京の川の恵みを活かす会、京都市)

上原一彦(大阪府立環境農林水産総合研究所、内水面グループ長)、

角田孝一(京都府内水面漁協連合会参事)、

磯部和雄(保津川漁協専務理事)、

桂利三・藤林幸次(京淀漁協組合長・教育情報担当)

水島昭(木津川漁協職員)、

澤健次(賀茂川漁協組合長)、

岡崎慎一・上野和也(淀川河川事務所河川環境課、課長・専門官)、

柴垣治男・田中実知世(淀川河川レンジャー木津川管内担当)、

谷口順彦(淀川河川レンジャー伏見管内担当)

(パネリストの一回あたりの発言時間は5分を目途にお願いします。)

## 会場案内

- 1) フォーラム会場：淀川管内中央流域センター会議室
- 2) 所在地：淀川河川事務所枚方出張所 〒573-0056 枚方市桜町 3-32
- 2) 交通手段：京阪本線「枚方公園駅」より徒歩 5～10 分。

地図



### 参加申し込み書

氏名:

電話番号:

住所:

申し込み締め切り:平成 27 年 6 月 25 日(木)

問い合わせ・申し込み:淀川河川レンジャー事務局上流流域センター

所在地:京都市伏見区葎島金井戸町官有地

伏見管内河川レンジャー 谷口順彦、

Tel: 075-611-2246, Fax: 075-611-2271

京の川の恵みを活かす会 竹門康弘

Tel: 0774-38-4253